

(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)



証券コード9601

松 竹 株 式 会 社

代表取締役社長 迫本 淳一



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第148期第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出の持ち直し、雇用情勢の改善、企業による設備投資の増加、デフレ状況の緩和等により緩やかに景気回復へ向かう一方、欧州の財政問題や新興国経済停滞等、依然不透明な状況のまま推移しました。

映画業界は、ゴールデンウィークは厳しい状況となりましたが、夏休み期間に「風立ちぬ」「モンスターズ・ユニバーシティ」等のヒット作が相次いで公開され、興行収入は前年を上回りました。

演劇業界は、新開場した歌舞伎座の柿葺落興行は好調に推移しましたが、名古屋・御園座とル テアトル銀座が閉館になる等、依然厳しい状況が続きました。

不動産業界は、オフィスビル賃貸市場は、大型物件の供給が減少したことやオフィスの拡張・集約移転等が増加したことから、空室率は緩やかに改善しました。

このような状況下、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動に努めて参りました結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高46,315百万円（前年同期比118.8%）、営業利益5,552百万円（同282.8%）、経常利益4,687百万円（同381.3%）、特別損失31百万円を計上し、四半期純利益2,957百万円（同293.1%）となりました。

なお、当社の中間配当につきましては、通期業績に不透明要因が残ることから、誠に遺憾ながら見送らせていただきます。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

映像関連事業

【配給】邦画6本、洋画3本、アニメ1本、シネマ歌舞伎、METライブビューイングとバラエティに富んだ作品を公開しました。春休みに公開した「ひまわりと子犬の7日間」は厳しい結果となりましたが、ゴールデンウィークに公開した「舟を編む」は作品評価も高く、堅調に推移しました。また、若年層の強い支持を得た「クロユリ団地」とシニア層に支持された歴史大作「終戦のエンペラー」はヒット作品となりました。その他、ODS（非映画デジタルコンテンツ）作品として「宇宙戦艦ヤマト2199 第五章・第六章・第七章」、「機動戦士ガンダムUC episode6」を公開し高稼働しました。

【興行】「風立ちぬ」「モンスターズ・ユニバーシティ」「真夏の方程式」等をはじめ、邦画、洋画、アニメーション、ODS等、幅広いラインナップを興行しました。

【テレビ制作】シリーズ企画「赤かぶ検事奮戦記5」「司法教官 穂高美子3」「天才刑事 野呂盆六Ⅷ」、水谷豊主演時代劇スペシャル「だましゑ歌麿Ⅲ」、北大路欣也主演「剣客商売」第二作目、木下恵介 生誕100年プロジェクト「二十四の瞳」、歌舞伎界を舞台にした連続ドラマ「ぴんとこな」（制作協力）、CS・BS放送局の時代劇等を受注制作しました。また、新たな販路として「必殺」（シリーズ）のVOD（ビデオ・オン・デマンド）配信権の販売や「鬼平犯科帳」26話分の放映権をアメリカに販売しました。

【映像版權】＜DVD・ブルーレイディスク販売＞劇場公開作品の「大奥～永遠～【右衛門佐・綱吉篇】」「東京家族」等を発売しました。1月から創刊した「山田洋次DVDマガジン」が収益に貢献しました。また、木下恵介 生誕100年プロジェクトの一環とし



「クロユリ団地」
©2013「クロユリ団地」製作委員会



「終戦のエンペラー」
©Fellers Film LLC 2012 ALL RIGHTS RESERVED



歌舞伎俳優によるパレード「GINZA 花道」
©松竹株式会社

て「二十四の瞳」等3作品のブルーレイ化に取り組みました。＜権利販売等＞TV放映権販売は、5月にWOWOWで「男はつらいよ」特別篇を含む全48作品49本、NHK BSで「男はつらいよ」3本とザ・ドリフターズの映画3本等が放送されました。

配信では、立川談志のドキュメンタリー映画「映画 立川談志」が、iTunesでベスト10に入りました。CMに関しては「オレンジナ」（男はつらいよ）の契約を更新しました。

【CS放送】（株）衛星劇場では、「ホームドラマチャンネル」は15周年の節目を迎えプロモーションを強化し、「衛星劇場」では歌舞伎座新開場に合わせた歌舞伎放送を充実させる事で、視聴者サービスを向上し、高い支持を得ました。

演劇事業

【歌舞伎座】4月に新開場して一年間に亘る柿葺落興行が始まり、当代最高の俳優たちによる豪華な舞台がお客様を魅了して大盛況を続けました。4～6月の3ヶ月は三部制興行が賑わい、7月からは若手花形俳優中心の舞台が評判を呼びました。また、新開場に先立って行われた歌舞伎俳優によるパレード「GINZA 花道」や開場式などが広く報道されて世間の注目を集め、宣伝効果に一役買いました。

【新橋演舞場】歌舞伎座の新開場に伴い、本来の一般演劇中心の劇場として、「滝沢演舞城2013」や里見浩太朗との共演による「舟木一夫特別公演」、藤山直美主演「さくら橋」などが評判を呼びました。

【大阪松竹座】3月・8月は関西ジャニーズJr.公演で安定した収益を上げ、4月はOSK日本歌劇団が「レビュー春のおどり」で劇

団91年目に入りました。5月は「ザ・オダサク」が話題を集め、恒例の「七月大歌舞伎」は新たな演目で魅了しました。

【南座】3月の「松竹新喜劇」は若手中心の上演で新たな動員に繋げ、3～4月の「歌舞伎ミュージアム」は舞台機構をお客様に実体験していただき歌舞伎の裾野を広げる取り組みとなりました。「五月花形歌舞伎」では復活狂言「鎌髭」、夜の部の「伊達の十役」が好評を博し収益に貢献しました。

【その他の松竹公演】ル テアトル銀座では市川海老蔵らによる「三月花形歌舞伎」、サンシャイン劇場では7月に「熱海殺人事件」が盛況となりました。三越劇場では6月に新派の名作「新釈金色夜叉」が高い評価を得ました。

受託製作では、さよなら公演中の名古屋・御園座「御名残御園座三月大歌舞伎」で二代目市川猿翁、四代目市川猿之助、九代目市川中車の襲名披露興行を行いました。また、赤坂ACTシアターにて坂東玉三郎と太鼓芸能集団・鼓童の共演「アマテラス」、明治座にて「明治座五月花形歌舞伎」を製作しました。巡業では、「第二十九回四国こんびら歌舞伎大芝居」、公文協東コースでの四代目市川猿之助襲名披露、公文協中央コースでの三代目中村又五郎襲名披露が好評を博しました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】シネマ歌舞伎は、歌舞伎座新開場を記念した過去作品の再上映『月イチ歌舞伎』が全国的に人気となり、また前期歌舞伎座で上演された物故俳優たちの舞台映像『シネマ歌舞伎クラシック』も好評を得ました。また、METライブビューイングでは「リゴレット」や「パルシファル」等の新作の他、過去作品のアンコール上映を行い好評を得ました。

【歌舞伎座ギャラリー】4月に歌舞伎座タワー5階に伝統文化の普及・世界への発信を目的とした文化施設「歌舞伎座ギャラリー」がオープンし、開場以来、日本全国から多くの来場者を集めました。

不動産事業

不動産賃貸は、東劇ビル、築地松竹ビル、新宿松竹会館、大船の松竹ショッピングセンター、新木場倉庫、有楽町センタービル（有楽町マリオン）、松竹倶楽部ビルが順調に推移し、安定収入に貢献しました。各ビルとも効率的運営、経費削減に努めることにより、計画通りの利益を確保しました。歌舞伎座タワーのリーシングにつきましては、大型テナントの契約締結の一方で、テナントニーズに応じてフロア分割賃貸を実施した結果、複数のテナントの誘致に至りました。

その他の事業

《プログラム・キャラクター商品》コアファンを有するアニメ「劇場版 銀魂 完結篇 万事屋よ永遠なれ」「宇宙戦艦ヤマト2199 第五章・第六章・第七章」「機動戦士ガンダムUC episode6」等が好成績で、実写邦画では辞書をつくる人々を描いた感動作「舟を編む」等が好評を得ました。《イベント事業》東京・大阪・京都で実施した「アルプスの少女ハイジとスイス展」では通常の催事企画販売に加え、会場図録等の自社で開発したオリジナル商品も販売しました。4月に新開場した歌舞伎座の賑わいが「松竹歌舞伎屋本舗」をはじめ歌舞伎関連物販の活況に繋がリ収益に貢献しました。



平成25年4月 歌舞伎座「鶴寿千歳」
©松竹株式会社



歌舞伎座タワー
©松竹株式会社、株式会社歌舞伎座



松竹歌舞伎屋本舗
©松竹株式会社

今後の見通し

今後のわが国の経済は、輸出が持ち直し、各種政策の効果が現れるなかで、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待されますが、世界経済を巡る不確実性はなお大きく、海外景気の下振れが、引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっています。

当社グループは、コンプライアンス経営の強化に取り組み、社会情勢に対応しつつ、企業価値を高め、幅広い世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇コンテンツを創造して参ります。

【映像関連事業】映画製作・配給につきましては、10月公開のエコノミック・サスペンス大作「人類資金」、11月公開の“90歳からの詩人”柴田トヨさんの物語「くじけないで」、12月公開の“包丁侍”一家の夫婦愛・家族愛を描いた「武士の献立」がラインナップされており、また1月にはCM業界をコミカルに描いた「ジャッジ!」、山田洋次監督作品「小さいうち」、アニメでは期待作「劇場版 TIGER&BUNNY -The Rising-」の公開を予定しております。映画興行につきましては、俳松竹マルチプレックスシアターズの各劇場にてスタジオジブリ製作の「かぐや姫の物語」、発行部数300万部を超えるベストセラー小説の映画化「永遠の0（ゼロ）」等の上映を予定しております。また、販売システムの改良により更なるお客様サービスの向上を図って参ります。

映像版權につきましては、DVD・ブルーレイ販売では、「関西ジャニーズJr.の京都太秦行進曲!」「舟を編む」「はじまりのみち」「グランド・マスター」「終戦のエンペラー」等の劇場公開作品に加え、「シネマ歌舞伎 傑作集 巻の巻〜周忌追悼 甦る十八代目中村勘三郎（なかむらや）の情熱〜」の発売を予定しております。

【演劇事業】歌舞伎座では、歌舞伎の将来を見据えた若手花形俳優による9月の「新薄雪物語」、新作「陰陽師」をはじめ、一年間に亘る柿萱落興行を一層盛り上げるべく話題の公演を続けて参ります。新橋演舞場では、10月に中村獅童主演「大和三銃士 虹の獅子たち」、11月に山田洋次監督演出・中村勘九郎主演「さらば八月の大地」と、意欲作の上演を行います。幅広い観客層を取り込むことができる企

画・製作力と、新規団体開拓などの販売力を一層強化して参ります。大阪松竹座では、「十月花形歌舞伎」、11月に松竹新喜劇が劇団創立65周年記念の特別公演を上演いたします。南座では、10月に坂東玉三郎と鼓童の面々でお客様を神話の世界に誘う「アマテラス」を上演します。「吉例顔見世興行」は二代目市川猿翁・四代目市川猿之助・九代目市川中車襲名披露興行となります。日生劇場では9月に「明治一代女」と新派名作狂言の上演を行います。恒例の浅草公会堂「新春浅草歌舞伎」には市川猿之助が出演いたします。シネマ歌舞伎は9月に「ヤマトタケル」、METライブビューイングは「トスカ」「ラ・ボエーム」等10演目を公開します。歌舞伎座ギャラリーは9月より「歌舞伎 秋の彩り」を開催し、伝統文化の普及に努めて参ります。

【不動産事業】歌舞伎座タワーの早期の満室稼働、築地松竹ビルの後継テナント誘致を目指し、これまで以上に業界の動向に関わる広範かつ的確な情報入手に注力し、積極的な営業活動が続けて参ります。ビル管理におきましては、防災体制、セキュリティの向上に取り組み、快適な環境作り及び省エネに努めるなど、保管理に万全を期すことはもとより、歌舞伎座タワーを含む所有不動産のスケールメリットを最大限に生かした経費削減と効率的運営のもと、更なる安定的な収益確保に努めて参ります。

【その他の事業】プログラム・キャラクター商品では「劇場版 TIGER&BUNNY -The Rising-」「宇宙戦艦ヤマト2199 第七章」等のアニメ作品で購買力のあるコアファン向けの商品を企画し、また「人類資金」「許されざる者」「武士の献立」といった邦画におきましてもターゲットを絞ることで効率的に販売して参ります。「松竹カレンダー」では、歌舞伎座各所の紹介とともに、12名の女優達が2014年を美しく彩ります。好調な歌舞伎関連物販をさらに拡大すべく「松竹歌舞伎屋本舗」の多店舗化や販売商品拡充に尽力して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



「くじけないで」
©2013「くじけないで」製作委員会



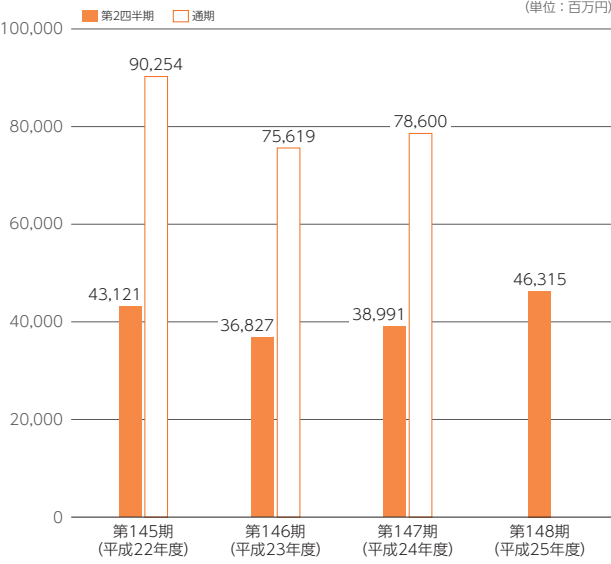
「ジャッジ!」
©2014「ジャッジ!」製作委員会



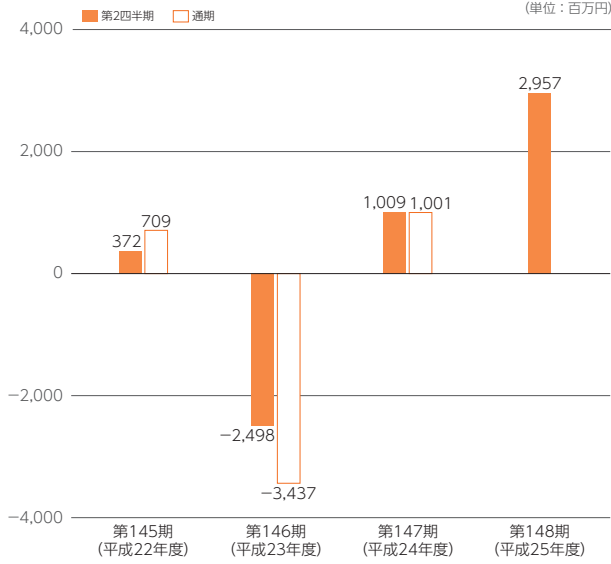
平成25年11月新橋演舞場
「さらば八月の大地」
撮影：加藤孝

連結決算ハイライト

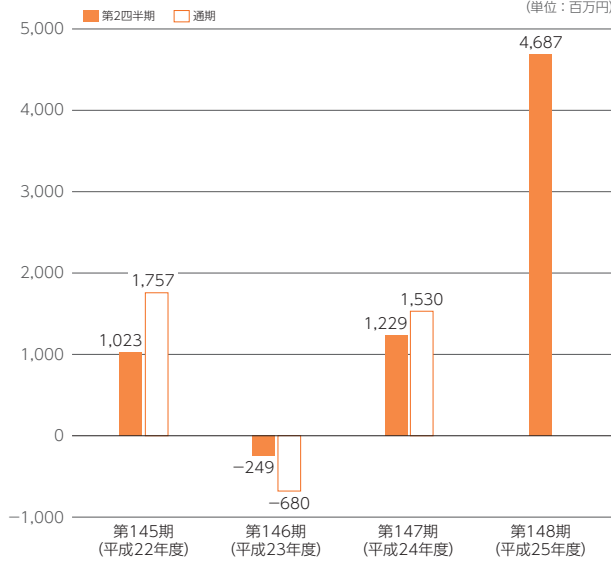
売上高



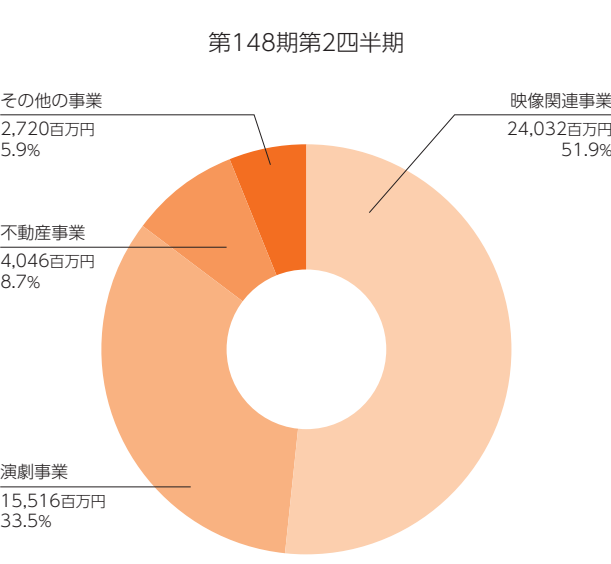
当期純利益



経常利益



事業別売上高



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 平成25年8月31日現在	前期末 平成25年2月28日現在
資産の部		
流動資産	44,935	44,648
固定資産	157,762	158,375
有形固定資産	115,247	117,168
無形固定資産	2,693	2,606
投資その他の資産	39,821	38,600
繰延資産	0	2
資産合計	202,697	203,026
負債の部		
流動負債	27,176	54,145
固定負債	105,650	82,641
負債合計	132,827	136,786
純資産の部		
株主資本	66,653	64,127
資本金	33,018	33,018
資本剰余金	30,066	30,066
利益剰余金	4,874	2,330
自己株式	△ 1,305	△ 1,288
その他の包括利益累計額	3,189	2,073
その他有価証券評価差額金	3,189	2,073
少数株主持分	26	39
純資産合計	69,869	66,240
負債・純資産合計	202,697	203,026

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 自 平成25年3月 1日 至 平成25年8月31日	前第2四半期累計期間 自 平成24年3月 1日 至 平成24年8月31日
売上高	46,315	38,991
売上原価	25,438	22,508
売上総利益	20,876	16,482
販売費及び一般管理費	15,324	14,518
営業利益	5,552	1,963
営業外収益	326	239
営業外費用	1,191	973
経常利益	4,687	1,229
特別利益	－	53
特別損失	31	107
税金等調整前四半期純利益	4,655	1,175
法人税、住民税及び事業税	1,134	114
法人税等調整額	576	67
法人税等合計	1,710	181
少数株主損益調整前四半期純利益	2,945	993
少数株主損失 (△)	△ 12	△ 15
四半期純利益	2,957	1,009

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 自 平成25年3月 1日 至 平成25年8月31日	前第2四半期累計期間 自 平成24年3月 1日 至 平成24年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,956	5,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,294	△ 4,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,961	1,280
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 1,299	2,276
現金及び現金同等物の期首残高	20,181	11,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,881	13,796



新作映画情報



©2013「武士の献立」製作委員会

『武士の献立』

出演：上戸彩 高良健吾 西田敏行
余貴美子 夏川結衣 緒形直人
成海璃子 柄本佑 鹿賀丈史 他

監督：朝原雄三
脚本：柏田道夫 山室有紀子 朝原雄三
音楽：岩代太郎

江戸時代、将軍家や大名家には、君主とその家族の食事をまかなう武士の料理人たちがいた。刀を包丁に持ち替えて主に仕える武士たちを、人々は揶揄と親しみを込めて“包丁侍”と呼んだ。本作は、そんな包丁侍の家に嫁いだ料理上手の娘・春が、剣の腕は立つのに、包丁捌きはさっぱりの夫・安信とおつかり合い、時にすれ違い、次第に心を通わせながら夫婦愛と家族の絆を深めてゆくユーモア溢れるヒューマンドラマ。

気の強さが仇となり、わずか1年で離縁された春は、加賀藩の料理方である舟木伝内に「息子の嫁に」と懇願されて2度目の結婚を決意！だが、跡取りの安信は、剣の腕は立つのに料理が苦手、しかも4つも年下！！春は、姑・満の力も借りながら、必死に夫の料理指南をはじめが…。

加賀藩に実在した舟木伝内、安信親子が執筆した献立書「料理無言抄」をもとに、忠実に料理を再現。海山の幸満載の美味しい献立がスクリーンいっぱいにひろがる。中でも、藩の威信を懸け、男たちが厨房で作り出す、豪華な饗応料理は見ごたえたっぷり！

明るく元気な年上女房・春を演じるのは上戸彩。夫の安信に、本作が初の時代劇本格出演となる高良健吾。安信の父で、加賀藩屈指の包丁侍・舟木伝内に西田敏行、若夫婦を温かく見守る母・満に余貴美子。さらに、夏川結衣、成海璃子、柄本佑、緒形直人、鹿賀丈史ら、個性溢れる豪華キャストの競演を『釣りバカ日誌』シリーズの朝原雄三監督が、味わい深い感動作に仕上げました。ぜひご期待ください。

2013年12月14日（土）全国公開です。

名匠・山田洋次監督が、監督作82本にして、全く新しい世界へと踏み出しました。手掛けるのは、2010年に第143回直木賞を受賞した中島京子のベストセラー「小さいうち」。読了後すぐ「自分の手で映画化したい」と熱望した山田監督。その強い意欲から生み出された待望の最新作が、遂に誕生します。昭和モダンあふれる時代、東京郊外に佇む赤い屋根の家に奉公する少女タキが見た、奥様と青年の“恋愛事件”。その時、タキが封印した“秘密”が、60年の時を経た平成の今、タキにつながる青年の手で紐解かれていく。真相に近づくカギは、大学ノートに綴られたタキの自叙伝と、一通の宛名のない未開封の手紙にあった。時代が許さなかった奥様・時子の思いがけない運命と、彼女を慕い続けたタキ。それぞれが胸に秘めた切ない想いとは―？

小さく可愛らしいこの家で、いったい何が起きたのか？昭和と平成を行き来しながら謎が解かれるミステリアスな展開に引き込まれながら、封印された秘密の全貌を知ったとき、静かな衝撃と深い余韻に包まれる感動の物語が完成しました。

時子役には、話題作への出演が相次ぐ松たか子。平成を生きるタキには、山田監督と長年タッグを組んできた名女優、倍賞千恵子。その他、吉岡秀隆、片岡孝太郎、黒木華、妻夫木聡を始め、豪華で多彩なキャストが結集しました。さらに『東京家族』に続いて、久石譲が音楽を担当。スクリーンに豊かな情感と比類なき品格を与えています。

昭和と平成を自身の目で見つめ続けてきた山田監督にしか描けない世界。ぜひご期待ください。2014年1月25日（土）全国公開です。



©2014「小さいうち」製作委員会

『小さいうち』

出演：松たか子 黒木華 片岡孝太郎
吉岡秀隆 妻夫木聡 倍賞千恵子 他

監督：山田洋次
原作：中島京子「小さいうち」（文春文庫刊）
脚本：山田洋次 平松恵美子
音楽：久石譲

新たな文化スポット「歌舞伎座ギャラリー」



平成25年4月24日、「歌舞伎座ギャラリー」（GINZA KABUKIZA 歌舞伎座タワー5階）がオープンしました。歌舞伎座ギャラリーは、歌舞伎の隠れた面白さや、新たな切り口での楽しみ方を発見できる、小さなワンダーランドです。従来の歌舞伎ファンのお客様はもちろんのこと、まだ歌舞伎をご覧になったことがないお客様や地方・海外からお越しのお客様にも、日本が誇る伝統芸能 歌舞伎の世界に気軽に触れていただくことを目指しております。

初日は、春の花が咲き乱れる屋上庭園を目の前にしたギャラリー入口にてオープニングセレモニーが行われ、歌舞伎俳優・中村梅玉がテープカットを行いました。生憎の小雨となりましたが、約2,000人のお客様で大賑わいとなり、華やかな幕開けとなりました。

歌舞伎座ギャラリーでは、季節に応じたテーマで企画展を開催しております。オープニング企画展「歌舞伎の美 春」では、桜をテーマに本物の大道具セットや絢爛豪華な衣裳等を展示し、大変好評をいただきました。続く「歌舞伎の夏 色彩と音」展では、夏休み中のお子様や観光客のお客様にも楽しんでいただけるよう、楽器体験コーナーの設置や、スタッフによるギャラリーツアー等を実施しました。平成25年9月12日～平成25年12月1日は「歌舞伎 秋の彩り」展が、平成25年12月12日～平成26年3月2日は「歌舞伎の冬」（仮称）展が開催する予定です。

歌舞伎座ギャラリー奥にある「木挽町ホール」の舞台は、第四期歌舞伎座で長年使われてきた檜板を用いた本格仕様となっており、歌舞伎俳優や舞台関係者によるギャラリートークに加え、地域の方々や子供たちに向けたレクチャーイベント等を開催しております。

今後こうした活動を通じて、歌舞伎をはじめとする日本の伝統文化の魅力を発信して参ります。



会社の概要

商号 松竹株式会社
設立 大正9年11月
資本金 33,018,656,642円
従業員数 515名

本社、支社および営業所
本社 東京都中央区築地四丁目1番1号
電話 03－5550－1533（総務課）
関西支社（大阪）
九州営業所（福岡）

当社ホームページ
http://www.shochiku.co.jp/

役員

代表取締役会長	大谷信義
代表取締役社長	迫本淳一
専務取締役	安孫子正人
専務取締役	細田光人
常務取締役	田中雅人
常務取締役	武角正文
社外取締役相談役	大上清文
取締役	井手良樹
取締役	岡崎哲也
取締役	秋元一孝
取締役	関根康
常勤監査役	岡田敏明
社外監査役	中川弘
社外監査役	鈴木勝晴
社外監査役	牛島信

グループ会社一覧

連結子会社

- ・松竹衣裳（株）：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・（株）松竹サービスネットワーク：映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備、旅行業者代理業
- ・松竹関西サービス（株）：不動産管理・清掃
- ・（株）ショウビズスタジオ：舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
- ・松竹芸能（株）：タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
- ・（株）衛星劇場 ※：CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】※平成25年10月1日より松竹ブロードキャスティング（株）に社名変更
- ・（株）松竹撮影所：劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負
- ・（株）松竹映像センター：映像制作、編集およびDVDオーサリング
- ・（株）松竹マルチプレックスシアターズ：複合映画館（シネマコンプレックス）の開発・運営
- ・松竹音楽出版（株）：映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- ・歌舞伎座舞台（株）：演劇舞台の大道具製作・販売
- ・（株）関西美術：演劇舞台の小道具製作・賃貸
- ・日本演劇衣裳（株）：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・（株）松竹エンタテインメント：俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント
- ・匿名組合築地ビルキャピタル：築地松竹ビルの賃貸および管理
- ・KSビルキャピタル特定目的会社：歌舞伎座タワーの賃貸および管理

持分法適用会社

- ・（株）サンシャイン劇場：サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- ・（株）イヤホンガイド：演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ・（株）歌舞伎座：歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場（株）：新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
- ・インターローカルメディア（株）：放送法による委託放送業務およびその他の放送一般事業

株式の状況

発行可能株式総数 300,000,000株
発行済株式の総数 139,378,578株（自己株式1,107,057株を含んでおります。）
株主数 17,643名（前事業年度末比3名減）
大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
株式会社歌舞伎座	4,802千株	3.47%
株式会社みずほ銀行	4,500千株	3.25%
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344千株	3.14%
セコム株式会社	3,700千株	2.68%
三井物産株式会社	3,700千株	2.68%
清水建設株式会社	3,690千株	2.67%
株式会社大林組	3,600千株	2.60%
西松建設株式会社	3,288千株	2.38%
大成建設株式会社	3,104千株	2.24%
株式会社TBSテレビ	2,542千株	1.84%

（注）持株比率は自己株式（1,107,057株）を控除して計算しております。

株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数（1ヶ月使用可能ポイント数）
1,000株以上	80ポイント（40ポイント）
2,000株以上	160ポイント（60ポイント）
3,000株以上	200ポイント（80ポイント）
5,000株以上	280ポイント（100ポイント）
8,000株以上	400ポイント（120ポイント）
10,000株以上	480ポイント（140ポイント）

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。

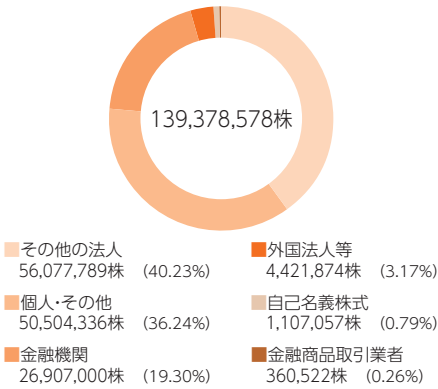
そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。

※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様20ポイントが必要となります。

新宿ピカデリーは公開の2週目（8日目）以降から利用可能です。「プラチナシート」「プラチナルーム」はご利用になれません。

※3D映画は、1名様につき15ポイント（通常10ポイントの1.5倍）で、ご観賞可能となります（「新宿ピカデリー」のみ30ポイント）。

【所有者別株式分布表】



株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月下旬

株主確定基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当 2月末日

株主名簿管理人 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711（フリーダイヤル）

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

単元株式数 1,000株

公告掲載URL <http://www.shochiku.co.jp/company/ir/>

（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。）

【お知らせ】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱ＵＦＪ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関（三菱ＵＦＪ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱ＵＦＪ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

●1単元（1,000株）未満の株式をお持ちの株主様へ 【買増・買取制度のご案内】

当社株式の証券市場での取引は1単元＝1,000株となっているため、単元未満株式を市場で売買することはできません。このため、当社では、1単元（1,000株）に不足する株式を買い増して、1,000株にまとめることができる「単元未満株式の買増制度」、1,000株に満たない株式を当社へ売却することができる「単元未満株式の買取制度」をご用意しております。

お手続きの方法

- 当社株式を証券会社等の口座をお持ちの株主様
お取引の証券会社等へお問い合わせください。
- 上記以外、特別口座をお持ちの株主様
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711（フリーダイヤル）へ
お問い合わせください。

■買増・買取制度の例（1,200株ご所有の場合）



●特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要がございます。

お手続きは、上記の三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。